



KAWASAKI

川崎市立学校 教員募集

その熱が、
明日の光になる。



試験日程

令和8(2026)年度実施川崎市立学校教員採用候補者選考試験

受付期間

3月27日(金) - 5月7日(木)

試験会場

- 川崎会場
- 愛知会場
- 兵庫会場
- 宮城会場

第一次試験

7月5日(日)

※試験の詳細(校種等・教科、受験資格、日程など)については、受験案内を御覧ください。

説明会

オンライン及び市内、全国4都市で開催!

オンライン説明会

3月10日(火)

19:00-20:00

3月18日(水)

19:00-20:00

4月16日(木)

19:00-20:00

4月27日(月)

19:00-20:00

川崎会場

3月26日(木)

19:00-20:30
中原市民館

4月7日(火)

19:00-20:30
麻生市民館

4月19日(日)

10:00-12:00 14:00-16:00
川崎市役所本庁舎

名古屋会場

4月11日(土)

14:00-16:00
名古屋市中小企業振興会館

広島会場

4月18日(土)

14:00-16:00
エールエールA館

大阪会場

4月25日(土)

13:00-15:00
大阪市立青少年センター

仙台会場

4月26日(日)

15:00-17:00
エル・ソーラ仙台



お問い合わせ先 | 川崎市教育委員会事務局職員部教職員人事課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 TEL:044-200-3843(直通) FAX:044-200-2869 E-mail:88saiyou@city.kawasaki.jp

PR動画を御覧になりたい方はこちら



「川崎市立学校 教員募集」について詳しく知りたい方はこちら





新しい発見を子どもたちに伝えたい。

今村 歩詩 Imamura Fu
豊根県出身 令和7年度採用



子どもたちの可能性を広げたい。



子どもたちの個性を伸ばしたい。

その熱が、明日の光になる。



東山 勝彦 Toyama Katsuhiko
川崎市出身 令和7年度採用

子どもは、一人ひとり違う。
性格も夢も、いろいろな個性であふれている。
先生もまた、一人ひとり違う。
「子どもが好き」「教えることが好き」「音楽が好き」「体を動かすのが好き」
あなたもつその「好き」が、先生という仕事につながる。
“好き”は、子どもたちに「自分らしさ」を教える。
“好き”は、未来を創る原動力になる。
未来の個性に青り添えるのは、あなたの“好き”という熱意。
その熱意が、多様な未来を照らす光となる。
あなたの“好き”で、可能性を無限に広げよう。



“好き”で未来を照らしたい。



北野 りあ Kitano Ria
長崎県出身 令和7年度採用



YOUR PASSION, YOUR POWER.

情熱を燃やすオン、 情熱を育てるオフ。

川崎で教員として情熱を燃やし、川崎で情熱を育み豊かな時間を過ごしている。

ON

小学校教諭



学びと成長の原動力になる
本当の「楽しさ」を、
子どもたちに伝えたい。

古澤 咲希 Furusawa Saki

北海道出身 令和7年度採用

私が教員をめざしたのは、以前から子どもが大好きだったことが最大の理由。

社会の基礎を学ぶ小学校で、子どもたちの成長の手助けをしたいと感じていたからです。学生時代に放課後デイサービスや家庭教師、教育実習などを体験し、子どもの成長を肌で感じたことで、その気持ちがさらに強くなりました。

学校生活をとおして、将来のために「自分から学ぶ」姿勢の定着を重視し、「楽しむ時は思い切り楽しみ、何かに取り組む時は真剣に」とメリハリのある指導で、充実感や喜びを伝えられるよう工夫しています。

「楽しさ」は、チャレンジする上での最大の原動力。それが「もっと!」という成長の意欲に結びつくと思っています。



「新しい自分」に気づかせてくれる。
バスケットはいつも
プレイを楽しむだけじゃなく、

OFF

バスケットボール

私が熱中しているのは、小学1年生から続けているバスケットボール。今も地域のチームに所属して、ほぼ毎週練習に参加しています。地元北海道を離れて川崎市の教員に応募することを決めたのも、実はバスケットがきっかけ。教員として仕事をしながら、大都市の恵まれた環境の中で、知り合いと一緒にバスケットにチャレンジしたいと思ったことが大きな理由のひとつでした。

得ることができました。プレイの楽しさはもちろん、自分の成長の手助けを感じられることもバスケットの魅力なんだと、教員になった今改めて感じています。宿泊研修や初心者研修などの研修が充実している川崎市は、教員としての自分の成長を実感できるまちです。ぜひ皆さんもこのまちで、頼れる仲間や先輩と一緒に、子どもの成長という「やりがい」に向けた第一歩を踏み出していただけたらと思います。



Check out our site!

他校種の先生の紹介や川崎市の魅力をWEBサイトで紹介!



WEBサイト

特集 ON/OFF INTERVIEW

私自身が充実した学校生活を過ごしてきた実感があり、その経験が自分を成長させてくれたんだと感じています。生徒たちには、教室で幅広く学び、部活動に打ち込み、友人たちと楽しく過ごし、キラキラと輝くような学生生活を送ってほしい。そんな想いをもちながら生徒一人ひとりから信頼される教員になれるよう、日々正面から生徒と

向き合うようにしています。

英語科は苦手教科になりやすく、私自身も一時は苦手意識をもっていただけがあるので、できるだけ英語の「面白さ」を伝えることで、自然に英語を楽しめるようになってほしいと思っています。今、私がいちばん夢中になっているのが授業づくり。どうしても「面白い」と感じて

もらえるか、「わかった！」への道筋を見いだせるのか、様々なアイデアを盛り込んで、どんな授業をつくらうかと考えている時間がとても楽しいです。

工夫を凝らした授業の後、生徒からの「わかった!」「楽しかった!」という声に、教員になった喜びと手応えを感じています。

ON

中学校教諭



「好き」を見つけ出してほしい。
一つでも多くの
中学時代の多彩な体験の中から、

小倉 潤琉

Ogura Utsuru

川崎市出身 令和7年度採用

「楽しさ」を伝えるためには、
まず自分自身が
充実した時間を送ることが大切。



週末にも部活動はありますが、例えば午前の活動を終えた後は「自分の時間」と気持ちを切り替えることで、プライベートな時間を確保するように意識しています。

私は小学校から大学までずっとサッカー選手として活動してきた、今は審判員としての活動も行っています。審判員に興味を持ったのは2014年ワールドカップブラジル大会で日本人の審判員チームが開幕戦という大きな試合をさばくのを見て心を動かされたのがきっかけ。

その後3級審判免許を取得し、派遣審判員として様々な試合のレフェリングを担当しながら審判員としての技能を向上させています。

休日には昔からの友人たちと出かけるのも楽しみのひとつ。川崎には地元出身の私も知らなかった場所や、行くたびに新しい発見がある場所が多々あります。友人と一緒にそんな場所を訪れることが、私の最高のリフレッシュタイムになっています。



Check out our site!

他校種の先生の紹介や
川崎市の魅力を
WEBサイトで紹介!



WEBサイト

IDEAL TEACHER

求める教師像

子どもは誰でも「学びたい」「成長したい」と願っています。
一人ひとりに寄り添い、その願いを受け止め、日々の学びから意欲と感動を生み出していく。
そのために、教員自身も学び続ける姿勢をもち、子どもたちとともに挑戦し続ける。
未来を担う子どもたちの可能性を見つけ、育て、決してあきらめない。
川崎市は、そんなあなたを待っています。



1



子どもの話に
きちんと耳を傾ける
ことができる

2



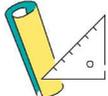
子どもと一緒に考え
行動する
ことができる

3



子どもに適切な
アドバイスを
与えることができる

4



教材研究が
きちんとできる

教育長からのメッセージ

子どもと教職員でつくる「川崎の未来」

学校では、子どもたちの指導を教職員が行っていますが、学校をつくりあげるのは、子どもたちではないかと思っています。子どもたちを主役にした、子どもたちの「やってみよう」という思いを形にする教育活動を川崎市は大切にしています。

教員の仕事は、他の職では味わえない多くの魅力があります。子どもの成長する姿を間近で見て喜びを感じたり、子どもとの深い絆や満足感、達成感を味わったりすることができる仕事でもあります。日々の学校生活の中において子どもたちと信頼関係を築くことで、自ら自分の未来を切り拓いていくことを支えることができます。川崎市では、そのような先生方を支えるために、経験年数に応じた研修や各区・教育担当をはじめとするサポートシステム、各教育研究会による授業研究会や研修会など、学び続ける先生方を支援し、学校でその力が発揮できるようにしています。また、教職員自身の人生もより豊かになるよう働き方・仕事の進め方改革の取組も一層推進しているところです。

川崎の教育は、今の瞬間から一人ひとりの個性を大切に、生きがいのある人生を自分らしく送ることで輝くことができる人を育てます。そして、そのような市民が、それぞれの強みを活かしながら、さまざまな立場や考えの人たちと協働して持続可能な社会をつくりだしていくことをめざしていきます。

川崎の子どもたちは、元気でやる気に満ちあふれた熱い思いをもつ先生を待っています。
多様性あふれる川崎市で、子どもたちの笑顔、川崎市の未来をともににつけていきましょう。



川崎市教育委員会教育長 落合 隆

川崎市教職員育成指標 ステージ0（着任時）

川崎市の教職員として着任時に求められる資質・能力

基礎的 資質・能力	教職員として 学び続ける力	自ら学ぶ姿勢を持ち、社会の状況を把握して、変化に対応し、 教職員を目指して成長し続けるために学び続ける。
	人間性を 高め続ける	・教育に対する使命感や熱意、子どもに対する責任感や深い愛情を持っている。 ・適切な人権感覚及び社会人としての礼儀や規律を身に付けている。
	社会性を 高め続ける	・社会人として、適切な表現力やコミュニケーション能力を持っている。 ・他者を受け入れ共感し、良好な人間関係づくりや協議することの大切さを理解している。
	自らを律する	・自身の健康管理と基本的な生活習慣の維持に努めている。 ・法令や規則、時間や提出期限等の順守等、自己管理に努めている。
教員としての 専門的 資質・能力	学習指導等	<p>授業を 計画する力</p> <p>学習指導要領等を確認し、学習指導に必要な基礎的な知識について理解するとともに、授業の目標を明確にし、目標の実現に向けた指導展開を踏まえた授業づくりを意識して授業を計画しようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが学習意欲を持ち、子どもを中心とした「わかる授業」を実践するために、子どもの学習状況や実態を把握し、教材研究を行う大切さを理解している。 ・授業計画に基づいた学習指導案を作成することができる。 ・学習状況を目標に準拠して評価し、それを指導に生かすことの趣旨について理解している。 ・子どもの特性等を理解することやそれに応じた指導方法を考えることの大切さを理解している。 ・子どもの理解を助ける等のために、GIGA端末等のICT機器や教材教具を取り入れることが効果的であることを理解している。
	児童生徒指導等	<p>子どもを 理解する力</p> <p>子どもの発達段階と子ども一人ひとりの実態把握の必要性について理解し、子ども一人ひとりに向き合い、子どもの話に耳を傾け、子どもと一緒に考え行動しようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの信頼関係や子ども相互のよりよい人間関係を育てるために、子ども一人ひとりを理解し、一人ひとりを生かしながら、集団として成長させるための指導の大切さを理解している。 ・特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性を認め、一人ひとりのニーズに応じた指導を行う必要性を理解し、その方策を考えようとしている。 ・子どもの個々の教育的な課題を捉え、状況に応じて子どもにアドバイスを与えることの大切さを理解している。 ・情報モラル及び情報セキュリティの基本的な知識を確認し、子どもへの指導方法を考えることの大切さを理解している。
学校マネジメント	<p>組織を 意識できる力</p> <p>学年組織や校務分掌等、学級担任の役割や仕事内容を理解し、 組織の一員として行動しようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の意見を聴き、適切なコミュニケーションを図りながら、集団の中で、協働的に行動することの大切さを理解し、連携・協働を大事にして行動しようとしている。 ・学校において保護者や地域等と積極的に関わることの必要性を理解し、普段から意識的に行動している。 ・子どもの安全安心を大切に、学校で起こりうる危険や問題について未然に考えることの大切さを理解している。 	

川崎市教職員育成指標ステージ0は、教員養成段階で身に付けてほしい資質・能力です。詳しくは、川崎市教育委員会のホームページを御覧ください。

EDUCATIONAL PLAN

教育プラン

川崎市では「Colors, Future! いろいろって、未来。」をブランドメッセージとして掲げ、多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出すことができるまちをめざしています。かわさき教育プランにおいても、誰もが多様な個性や能力を伸ばし、一人ひとりが“学びの主役”、“学びの主体”となって、自らの学びを“自分事”としてとらえられるよう教育施策を進めていきます。



めざすもの

川崎の教育がめざすもの

一人ひとりが輝き、共に未来をつくる

川崎の教育は、今この瞬間から一人ひとりの個性を大切に、し、生きがいのある人生を自分らしく送ることで輝くことができ、育てる人を育てます。そして、様々な立場や考えの人たちと協働して持続可能な社会をつくりだしていくことをめざしていきます。

川崎らしい人づくり、社会づくりを進めていく“合言葉”

一歩、踏み出す

つまづきも学びに変えながら、チャレンジすることを大切にします。

自分の幸せみんなの豊かさ

子どもや教職員、保護者、すべての市民が、自分が自分であることを大切にできるよう、そして、ともに学び合い、つながるよさを感じながら、よりよい社会をつくっていきます。

多様性を可能性へ

異なる背景や立場の人たちと学び、成長することが、教育にとって必要なことだと信じています。学校も地域も一緒に、他者を想像し、互いを認め、支え合いながら、多様な価値が交差する場を創造していきます。

実施計画

「めざすもの」の実現に向けた教育委員会の全ての取組

PROJECT 1

社会参画に向けた資質・能力を育成する探究的な学びの充実

地域に学び地域に関わる「探究的な学び」を実践し、行動につなげていきます。



PROJECT 2

組織等の枠を超えた連携による切れ目のない支援

児童生徒の状況の変化や複雑・多様化するニーズ等を適切に把握し、一人ひとりに応じた支援を行います。



PROJECT 3

教職員が働きやすい環境づくり

教職員の健康確保とウェルビーイングを向上させ、教育の質の向上と、学校現場の魅力向上をめざします。



PROJECT 4

生涯を通じた「学び」と「学び合い」社会の実現

生涯を通じた「学び」の環境の充実や「学び合い」社会の実現に向けたしくみづくりを進めます。



川崎市では「わかる授業」を大切にしています



すべての子どもが「わかる」ことをめざして、1人1台端末を最大限に活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的にした学習活動の充実を図っています。

年間スケジュールと通年活用モデル



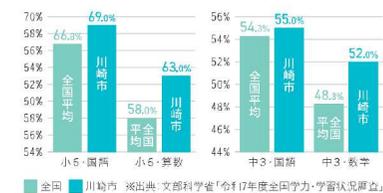
学習状況調査の活用、授業改善研究の推進

小5と中2で実施してきた市学習状況調査の実施学年を、今年でデータを活用できるよう令和5年度から小4～中3に拡充しました。

調査結果をもとに分析を行い、教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントの改善・充実に役立てています。

受動的に学ぶだけでなく、書く・話す機会を設けるなど実際に表現する力を育むとともに、授業の終わりには学びを振り返る時間を設け、児童生徒自身が学習の理解度を自覚できるようにしています。こうしたきめ細かな指導を推進し、子どもたちの「わかる」の実感を大切にすることで、全国学力・学習状況調査では、全国平均を超える結果となっています。

各教科における平均正答率の全国との比較



すべての市立学校で「かわさき探究2.0」を実践していきます！

川崎市では、「総合的な学習の時間」を中心に、子ども主体の「探究的な学び」を、学校と地域が一緒になって進めていくことで、子どもたちの資質・能力を高めます。

令和8年度から始まるモデル校での取組

学習テーマは地域資源

子どもたちが地域・社会の一員として参画していけるように、地域の魅力や課題をテーマとした探究学習を取り入れます。

探究的な学びに集中できる時間割～探究タイムデザイン～

授業計画に基づいて探究学習のサイクルを発展的に繰り返したり、学習内容に応じた時間数を確保したりして効果的に学習を進めます。

小中9年間の学びの連続性の確保

子どもの発達段階に応じた授業づくりを行うことができるように、地域の小中学校で情報共有を行います。

地域と学習目標や学習内容を共有

地域・保護者の学習への理解を深め、ともに学びに関わり、ともに課題の解決に向かう「関係性」を高めたいとめざします。

TRAINING SYSTEM

充実した研修制度

川崎市で教員になる方が、学習指導と児童生徒指導の力を着実に伸ばし、安心して教員生活を送れるよう、研修の充実に力を注いでいます。採用前から初任時、そして2年目以降まで、その時期に必要な学びを用意。「チーム川崎」として、仲間とともに学びを深め、実践力を磨けます。川崎市は、あなたの学びと成長を支え続けます。



教育研究(部)会

各校種に複数の研究会・研究部会があり、それぞれに授業研究、研究会などの活動が行われています。常に学び続け、力量を高めようとする教員の支えとなっています。

- 年間6~8日の授業研究日の設定
- 年間約200本の研究授業の公開



小学校教育研究会

毎月2回程度の研究・研修日が設定され、各教科等の領域の研究会が熱心に活動しています。授業研究日は、自身が学びたい学年教科の授業を参観します。研究協議も発言し思い工夫があり「チーム川崎」として授業力向上をめざしています。このような研究・研修体制を確保している自治体は類を見ません。



1 採用前講習会

4月からの教員生活を安心してスタートさせるための講習会です

採用前の様々な不安を少しでも取り除けるよう、希望者を対象に採用前講習会を実施しています。講習会では川崎の教育の特徴や実施されている教育活動などについて学んだり、同期の仲間と交流して親睦を深めたりします。



2 初任者研修

教員の使命感を養い、豊かな人間性と実践的指導力を身に付けます

初任者研修は、川崎市に新しく採用された初任の教員を対象とした研修です。実践的な指導力を育成し、教員としての使命感を養い、幅広い知見を得るために、1年間にわたって行います。

▶ 全教職員で支える校内研修

教員の基本となる様々な研修を行い、指導担当教員を中心に全校体制で実施。初任者が専門的知識や実践力を身に付け、教員としての資質や力量を高めることを支えます。



一般研修及び教科指導法研修

勤務の心得、マナー、学級経営、児童生徒指導、教科指導などについて、管理職や指導担当教員などから指導を受けます。



初任者授業

初任者の授業を、指導担当教員など校内の教員が参観して、アドバイスをすることで、より深い実践力を培います。



示範授業の参観

各教科主任や指導担当教員などの授業を参観し、疑問や板書などの指導法について学び、今後の教科指導の力量を高めます。

▶ 絆が深まる校外研修



総合教育センターをはじめ、市内の学校や教育施設などで実施します。学習指導、児童生徒指導、学校マネジメント等、教員としての基礎的なことを学びます。班別研修ではそれぞれの班に担当の指導主事がつき、実践的な授業研究などを通して、仲間と学び合いながら、一歩ずつ確かな指導力を磨いていきます。

▶ 一体感が生まれる宿泊研修



日常生活を離れ、豊かな自然の中での体験的な研修を通して、幅広い知識と実践力を身に付けます。班別研修では、初任者が自ら計画を立て、実践を振り返り、課題解決に向けた具体的方策を考える力を磨きます。集団生活の中での交流を通して川崎市の教員としての一体感が深まり、同期の仲間との絆も育まれます。

3 2年目以降の研修

多様な研修機会を通して魅力あふれる教員をめざします

▶ 経験に応じた研修

川崎市では初任者研修修了後も、2年目教員研修をはじめ、経験に応じた研修プログラムにより、教員の皆さんをしっかりとサポートしています。2年目・3年目教員研修は初任者研修の班が継続され、仲間とのつながりを感じながら研修を深めていくことができます。



▶ 自らの専門性を高める希望研修

川崎市では個人参加できる希望研修を実施。「各教科等に関する内容」「教育相談・特別支援」「ICT活用」など多彩なプログラムを用意し、教員の成長を支えます。



2年目教員研修

3年目教員研修

2校目異動者研修

中堅教諭等資質向上研修

15年経験者研修



働き方・仕事の進め方 改革の取組を推進

川崎市では、教員が働きやすい環境づくりを推進しています。DXの推進、適切な人員配置・増加によって負担を軽減。現場とも積極的にコミュニケーションを取りながら、教員がやりがいと誇りをもてる働き方へ、着実に改革を進めます。

1 今までの取組

仕組みづくり・2学期制、通知表前期所見欄記載の見直し

- 1 学校における業務改善・支援体制の整備**
 - 2学期制での通知表前期所見欄記載の見直し
 - 学校・保護者間の手続のオンライン化の推進
 - 給食費の会計化
- 2 チーム体制の構築と学校を支える人員体制の確保**
 - 部活動指導員の配置拡充、大会等の引率方法等の見直し
 - 教職員事務支援員等(スクールサポート・スタッフの全小中学校への効果的な配置)
 - 専門スタッフ(スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・外国語指導助手・理科支援員等)の効果的な配置の継続
 - 教科担任制や専科教員の推進
- 3 働き方・仕事の進め方に関する意識改革の推進**
 - 学校閉庁日の実施
 - 教育職員等の時差勤務の執行実施など

休日取得の状況



有給休暇取得日数
全校種平均16.6日

※通知表前期所見欄の見直しは小学校全校、中学校(一部を除く)

2 更なる改善への取組

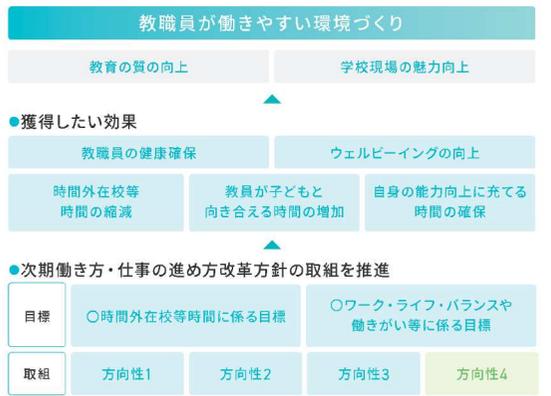
令和5年度	令和6年度	令和7年度
小学校・中学校にアンケートを実施	小学校全校(校長・教頭・教務主任計342人)、中学校全校(校長・副校長・教頭・教務主任計157人)と教育委員会で見聞交流会を実施 現場の声を聞きながら、学校現場の働き方改革を進めてきました。(教育委員会が小中学校と意見交換を行い、各種取組を進めることができるのが川崎市の強み)	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校・高等学校でワークショップを開催し、現場の声を確認 業務改善等実践校(23校)への伴走支援

3 現場の意見・アイデアを取り入れた次のステップ

教育委員会が主体となって行ってきた取組を継続しつつ、学校との意見交換会の結果を踏まえた「4つの対応の方向性」を新たに定めて取組を進めます。

- 方向性1 教育課程の編成による創造的な余白づくり**
(教育課程構成の工夫など)
- 方向性2 教員の負担軽減・業務改善**
(チーム制(複数教員での授業・学年鑑賞)など)
- 方向性3 児童生徒主体の学びへの転換**
(教員主導から子ども主体の授業への転換など)
- 方向性4 しきみづくり・環境整備・人材確保**
(働き方・時間調整の弾力化など)

※学校現場での実践が重要な取組 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺



教育活動をサポート

川崎市では、教員の負担軽減に少しでもつながるよう、教育活動をサポートする様々な取組を実施しています。児童生徒と向き合う時間を確保できるようにして、学校の教育力の向上につなげています。

01 事務業務負担軽減

・**教職員事務支援員・チャレンジ・ワークス***
教員の事務業務負担を軽減することにより、児童生徒への対応や教材研究に、より集中できることや、在校時間の縮減に繋げる取組として、プリント類の印刷や配布物の仕分け等を行うスタッフである教職員事務支援員またはチャレンジ・ワークス*を、小中学校全校に配置しています。

*児童省費活用を旨として教職員事務支援員と従来の業務を行う取組です。

02 複数対応の体制づくり

・**支援教育コーディネーター**
特別な教育的ニーズのある児童生徒の支援について支援教育コーディネーター(支援教育や児童生徒支援活動の中核となる教員)が担任へアドバイスを適宜行っています。また、必要に応じて専門機関との連携を図るなど、子どもが抱える多様な課題に担任が一人で抱え込まず、複数で対応する体制づくりを進めています。

03 部活動支援

・**部活動指導員**
教員の部活動指導に係る負担軽減のため、部活動の技術指導や大会・練習試合等の引率等を行うことができる部活動指導員を配置しています。

04 指導力向上の支援

・**行政区・教育担当**
各区内の学校支援を行う行政区・教育担当が各学校を訪問し、若手教員の授業を中心に参観して支援します。授業後に相談に応じたり、助言したりするなど、教員の指導力向上に向けた支援をしています。

05 電話対応の縮小

・**自動音声メッセージ機能付電話の設置**
留守番電話を市立小学校、中学校及び特別支援学校全校に設置し、勤務時間外における留守番電話による対応を実施しています。

06 外国につながる子どもへの支援

・**日本語指導初期支援員**
・**日本語指導非常勤講師**
日本語指導が必要な児童生徒に対して、学校生活への適応を支援しながら日本語能力を高める指導を行っています。子どもの状況に応じて継続した支援を行っています。

その他の取組を御覧になりたい方は、こちらを御確認ください。



教員採用試験のQ&A

教員採用試験の気になる疑問にお答えします。川崎市の多様な未来を照らす光となる、あなたの御応募を心よりお待ちしております。

01 採用試験合格から、採用までの日程を教えてください

採用までのスケジュール(予定)	
第二次試験合格発表	9月17日(水)
採用前講習会・健康診断	1月
配置予定校内示・校長面接	3月上旬
採用	4月1日

02 昨年度の実施結果を教えてください

受験区分	募集人員	合格者数	倍率	
小学校	230名程度	295人	207人	1.4倍
中学校	20名程度	36人	22人	1.6倍
社会	20名程度	103人	31人	3.3倍
数学	30名程度	34人	24人	1.4倍
理科	30名程度	30人	26人	1.2倍
音楽	5~10名	23人	10人	2.3倍
美術	5~10名	5人	4人	1.3倍
保健体育	30名程度	102人	41人	2.5倍
技術	5~10名	6人	4人	1.5倍
家庭	5~10名	14人	9人	1.6倍
英語	40名程度	38人	28人	1.4倍
中・高併設	200名程度	391人	199人	2.0倍
高等学校(工業)	若干名	6人	3人	2.0倍
高等学校(商業)	若干名	1人	1人	1.0倍
特別支援学校	20~25名	59人	36人	1.6倍
養護教諭	10~15名	97人	29人	3.3倍
合計	470名程度	849人	475人	1.8倍
大学3次在籍者推薦	小学校 50名程度	50人	42人	1.2倍
(うち前年度採用者含む)	中学校 15名程度	17人	17人	1.0倍
採用者数	中学校 4名程度	5人	5人	1.0倍

04 勤務条件について教えてください

給与の連環	小・中学校	特別支援学校
修士課程修了	約340,000円	約349,000円
大学卒	約317,000円	約324,000円
短大卒	約295,000円	約304,000円

(令和5年4月1日現在: 香取卒業生の初任給標準)

※給与には、給与、地域別給付、地域手当、教員特別手当を含みます。※特別支援学校には、特設支援学校業務手当が含まれます。※給料標準により異なる場合があります。

●随手当 運動手当、扶養手当、住居手当等がそれぞれの条件により支給されます。

●賞与 期末手当及び勤労手当が年2回(6月、12月)支給されます。

●休暇等 年次休暇のほか、夏季・結婚・出産・育児などの特別休暇があります。また育児休暇制度、介護休暇などもあります。

05 奨学金返還支援事業について教えてください

優秀な人材の確保を目的として、採用試験合格者の中から、成績上位者50名程度に、最大200万円の支援を行います。日本学生支援機構の第一種奨学金、第二種奨学金どちらも対象になります。

03 昨年度の合格者について教えてください(大学3次在籍者推薦は除く)



その他詳細な情報を知りたい方は、こちらを御確認ください。

